



2016 ワールド・カー・アワード決定

ニューヨーク、2016年3月24日

PRESS RELEASE

日本メーカーがトリプル受賞 マツダ MX-5 ロードスターはダブル受賞

ニューヨーク国際オートショーとブリヂストン社、プライム・リサーチ、オートネアムの協賛で行われた2016年ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー、ならびに他4部門のワールド・カー・アワードの勝者が、3月24日午前9時からの授賞式で発表された。

ニューヨーク国際オートショーでの発表が今年で10周年となるワールド・カー・アワードで、マツダ MX-5（日本名：ロードスター）が大賞であるワールド・カー・オブ・ザ・イヤー賞とワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー賞のダブル受賞を果たした。また、世界初の燃料電池車トヨタ・ミライがワールド・グリーン・カー賞を獲得。日本車のトリプル・ウィンとなった。

2016年のワールド・カー・アワード各賞の受賞車は、

- ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー：マツダ MX-5 ロードスター
- ワールド・ラグジュアリー・カー：BMW 7シリーズ
- ワールド・パフォーマンス・カー：Audi R8 クーペ
- ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー：マツダ MX-5 ロードスター
- ワールド・グリーン・カー：トヨタ・ミライ

近年ワールド・カー・アワードではドイツ車の攻勢が続いてきたが、今年は3月1日のジュネーブ・モーターショーで発表された各賞に、マツダ、トヨタ、ホンダと、日本車の名が並んだ。

今回のマツダの快挙は、ライトウェイト・スポーツという原点のコンセプトに帰ってスポーティなデザイン、優れたハンドリングを実現したMX-5 ロードスターを世界が高く評価、支持した結果と言える。パフォーマンス、ヴァリュー、エモーションでの評価項目で2位のメルセデス・ベンツ GLC、アウディ A4 に差をつけた。

マツダは2008年にマツダ2 / マツダ・デミオ(2008)が、ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー賞を受賞しているが、2014年には3ファイナリストに選ばれつつも受賞を逸していた。

また、2016年のワールド・グリーン・カー賞の3ファイナリストには、トヨタ・ミライのほか、シボレー・ヴォルト、トヨタ・プリウスが入っていた。ホンダ・シビック・タイプRは、ワールド・パフォーマンス・カーの3ファイナリストに選ばれていたが受賞を逃した。

これまでにワールド・カー・オブ・ザ・イヤー賞を受賞した日本車は、日産リーフ(2011)、マツダ2/マツダ・デミオ(2008)、レクサスLS460(2007)。

同賞の選考委員は、世界23各国の経験ある実働ジャーナリスト73名で、ワールド・カー実行委員会が、各ジャーナリストの専門性、経験、信頼性、影響力を考慮して任命している。選考委員は、試乗・評価を各自の通常業務としており、その評価は全世界のユーザーに届いている。

ワールド・カー・アワード

2004年1月からスタートし、ニューヨーク国際オートショーでの発表が10周年を迎えた本賞は、プライム・リサーチ社のレポートによれば2014年から世界1のアワード・プログラムに成長した。世界各国、各地域それぞれのアワードの価値を高めるグローバルな評価プログラムである。

アジア、ヨーロッパ、北米、南米他で活動する信頼あるジャーナリスト73人と、その中から選出された実行委員会によって推進される。

会長はピーター・ライオン（日本）、副会長はマイク・ラザフォード（イギリス）とイェンズ・マイナー（ドイツ）が務める。ディレクターはジェリー・マロイ（カナダ）。

また、ワールド・カー・アワードはいいかなる出版社、オートショー、自動車メーカーおよび企業の影響も受けない、独立した非営利プログラムである。

本日の発表、受賞の写真は、ウェブサイトからダウンロードが可能です。

www.wcoty.com > Award Photos.

詳細は、ベス・ラインドにお問い合わせください。Beth Rhind, Executive Manager, E: beth@wcoty.com, T: 1.705.924.3444.